

かくしゅかつどうじょうきょう
Ⅲ 各種活動状況

1 市長・市議会への報告

川崎市外国人市民代表者会議条例第11条第1項「委員長は、毎年、代表者会議の調査審議の結果をまとめ、市長に報告しなければならない」及び第2項「市長は、前項の規定による報告を受けたときは、議会に報告するとともに、これを公表するものとする」に基づき、市長、市議会に2023年度の代表者会議の報告をしました。

1 市長への報告

2023年4月21日に第14期のペレーラ ラヒル サンケータ委員長、李 歓歓副委員長、ヒリストバ ガブリエラ あんしんせいかつぶかいぶがいちょう、イトウ ユリカ キャレン情報・社会部会 ぶがいちょう 部長が福田 紀彦市長へ2022年度年次報告書を提出し、1年間の活動の内容について報告しました。

市長からは、「これまでも、保育申込書類の多言語化などみなさんの提言が市の施策につながっていく良い関係ができており、今期のみなさんの活動にも期待しています。来年の提言を楽しみにしています。」とのコメントがありました。



2 市議会への報告

2023年4月21日に市民文化局が市議会正副議長へ2022年度の年次報告書を提出し、6月2日には市議会文教委員会において市民文化局市民生活部多文化共生推進課が年次報告の概要を説明しました。

また、7月27日には、ペレーラ ラヒル サンケータ委員長と李 歓歓副委員長が文教委員会に参考人として出席し、年次報告書をもとに、2022年度の活動について説明しました。この参考人招致は、文教委員会が代表者会議からの意見を聞き、審議等の参考とするために毎年行われているものです。

文教委員会委員長から、「正副委員長をはじめとする会議のメンバーの皆様の御努力に改めて感謝と敬意を表したいと思います。」とのコメントをいただきました。

2 臨時会（オープン会議）の企画・運営

オープン会議は、代表者会議の臨時会議として、代表者以外の外国人市民や日本人市民の方々からのいろいろな意見や専門家の話を聴いて、審議に活かすことを目的に開催されました。会議の開催方法や当日の進行、交流会の内容などは、実行委員会で話し合ったあと、全体会議に諮り、代表者全員が役割を分担して実施しました。

1 実行委員

ペレーラ ラヒル サンケータ（実行委員長）、李 歆歆（副実行委員長）、ドウマヤス アリヤン、フィゲイロ キム リリアン、ブリツィナ タチヤナ、楊 子宜、ユデク マルチン、劉 英杰、劉 晨

2 実行委員会の開催

開催日 2023年 4月23日、5月21日、6月18日、9月10日、10月15日
各回の会議の前に行いました。オープン会議の内容や開催方法、目的、当日のプログラム、役割分担、交流会などについて話し合いました。

3 会議の広報

市民館の識字・日本語学級を訪問し、日本語を勉強している学習者やボランティアの方に案内をしました。11月にはかわさき市民祭りに参加して来場者へチラシを配布し、会議への参加を呼びかけました。また、市ホームページや市政だより、市内施設へのチラシ配架のほか、川崎市市民文化局市民生活部多文化共生推進課のSNSやかわさきFMの川崎市広報ラジオ番組「かわさき7カ国語情報」での広報を行いました。

4 当日の主な役割分担

全体責任者	ペレーラ ラヒル サンケータ、李 歆歆
全体司会	野田 ユワリー、ユデク マルチン
受付担当	グエン ヌー フォン ザン、ドウマヤス アリヤン、マイ アサエル、ムハマド アイマン アリフ、尹 智夏
会場補助	楊 子宜、李 晨、劉 英杰
交流会	イトウ ユリカ キヤレン、ヒリストバ ガブリエラ、劉 晨

5 代表者の感想

① 地域で実際に外国人市民をサポートしている方から、経験したことやアドバイスを

共有いただき、有意義な会だった。

- ② 提言案に対して、市民の皆様から高い関心が寄せられていると感じた。
- ③ 私たちがふだんの議論の中で気づけていない課題や問題点を再認識できて、たくさんの方と議論することができてよかった。また、参加者の中には代表者会議に興味を持って今後応募する人がいると思うので、彼らにとってもこの会議を知ってもらいいい機会だと思った。
- ④ 外国人市民や外国人市民と関わる仕事をしている参加者から、困った経験や不安を感じたことを直接聞くことができてよかった。



3 ニューズレターの編集

ニューズレターは、代表者会議をより広く外国人市民及び日本人市民に知ってもらうこと、代表者会議を接点として外国人市民と日本人市民の交流の機会とすることを基本方針として、編集委員会で毎号の編集内容を話し合い、市が発行しています。

1 編集委員

李 晨 (委員長)、グエン ヌー フォン ザン、野田 ユワリー、バアブ、マイ アサエル、レイバーマン ケビン、ロディーニ フェデリカ

2 編集委員会の開催

開催日 2023年 4月23日、5月21日、6月18日、9月10日、12月10日

各回の会議の前に行いました。4月23日は編集委員長の選出、No. 77 の記事と

レイアウトについて、5月21日は引き続き No. 77 の記事とレイアウトについて、6月18日と9月10日は No. 78 の記事とレイアウトについて、12月10日は No. 79 の記事、レイアウトの検討と2023年度の振り返りをしました。

3 今年度発行のニュースレターと主な内容

No.77 9月1日発行

- 1ページ：2022年度の活動内容を市長・市議会に報告
- 2ページ：第15期代表者の募集案内、2023年度の代表者会議の日程
- 3ページ：第14期の調査審議の報告、オープン会議のお知らせ
- 4ページ：世界の秋の伝統的なお祭り（タイのベジタリアン・フェスティバル、メキシコの死者の日）

No.78 1月25日発行

- 1ページ：インターナショナル・フェスティバルinカワサキ、かわさき市民祭り
- 2ページ：オープン会議の報告
- 3～4ページ：世界のバレンタインデー、川崎市で日本語を勉強できるどころ

No.79 3月31日発行

- 1ページ：多文化フェスタさいわい
- 2ページ：第14期外国人市民代表者会議 提言
- 3ページ：代表者会議を振り返って
- 4ページ：委員長からのあいさつ、第15期代表者会議第1回第1日の日程

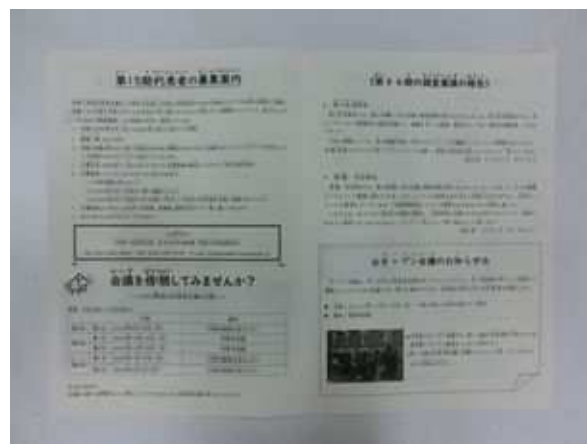
発行部数：日本語 1,500部、韓国・朝鮮語、中国語、英語、スペイン語、ポルトガル語、フィリピン語、ベトナム語 各400部

配布先：区役所・支所、市民館、図書館、行政サービスコーナー、国際交流センター、市立保育園、市立小・中・高等学校、市内県立高等学校・大学・朝鮮学校等、日本語教室等外国人に関わる団体、エスニックメディア、他都市の外国人市民施策担当部局など。なお、代表者会議のホームページにも掲載

4 まとめ

今年度のニュースレターは、No. 77 では「世界の秋の伝統的なお祭り」として「タイのベジタリアン・フェスティバル」と「メキシコの死者の日」を紹介する記事を掲載しました。

No. 78では「世界のバレンタインデー」として、アメリカ、タイ、メキシコのそれぞれの国のバレンタインデーの過ごし方や慣習についての記事を掲載しました。今年度は、日本との比較で代表者自身の国のことをいろいろと紹介しようということを方針の1つとして活動しました。活動の振り返りでは、代表者にとっても、記事を作成するにあたって詳しく調べたり、母国にいる家族と連絡をとったりするなど、記事の作成をとおしてあらためて自分のことや自分の国のことを振り返るよい機会になったという声が多くありました。これからも、いろいろな国の魅力的な情報とともに代表者会議のさまざまな活動について発信していきたいと思えます。



4 行事への参加

代表者会議では、会議での審議にとどまらず、各種行事に参加することにより、積極的に市民との交流を深めました。

1 参加行事

- ① インターナショナル・フェスティバルinカワサキ
- ② かわさき市民祭り
- ③ 多文化フェスタさいわい

2 実行委員

上記3つの行事の参加・実施について、交流イベント実行委員会を設置して準備をしました。アブドゥル ジャリル (実行委員長 8月まで)、ムハマド アイマン アリフ (実行委員長 9月から)、イトウ ユリカ キヤレン、ヒリストバ ガブリエラ、尹 智夏、林 芳安

3 実行委員会の開催

開催日 2023年 4月23日、5月21日、6月18日、9月10日、10月15日
2024年 1月14日、2月4日

各回の会議の前に開催しました。

4 インターナショナル・フェスティバルinカワサキ

「インターナショナル・フェスティバルinカワサキ」は、川崎市内の国際交流に取り組んでいる団体等が、日頃の活動の成果を発表し、各種イベント等の開催を通じて、地球市民として様々な立場の人がふれあいを深めることにより、相互理解と多文化共生を促進するために、4年振りに開催されたものです。代表者会議も活動の広報をするため、実行委員会で企画を立てて参加しました。

(1) インターナショナル・フェスティバルinカワサキ 参加概要

日時 2023年7月9日（日）10：00～16：30

場所 川崎市国際交流センター

内容 レセステージでのクイズ、代表者会議の活動広報

(2) 代表者の感想

- ① クイズコーナーではたくさんの方に参加いただき、景品を喜んでもらえてよかった。準備が大変だったけど、やりがいを感じた。
- ② いろいろなパフォーマンスを見て、海外の料理も食べられてとても楽しかった。
- ③ たくさんの方の関連事業や団体の協力により、大事なひとつのイベントが実際に執り行われていくのを見て、改めて川崎市のつながりを感じた。
- ④ 4年振りの開催で、たくさんの方に代表者会議を紹介できて大変良かった。



5 かわさき市民祭り

外国人市民と日本人市民の交流を深め、各国の紹介と代表者会議の広報を行うことを目的に、今年度もかわさき市民祭りに参加しました。

(1) 第44回 かわさき市民祭り 参加概要

日時 2023年11月5日(日) 10:00~16:30

場所 川崎区富士見公園一帯(あそびの広場)

内容 テントでのイベント(代表者会議のパネル展示、国旗描き、クイズ、代表者会議資料の配布等)

(2) 代表者の感想

- ① 特に親子連れの来場者が多く、川崎市の多様性を伝えられるいい機会だと思った。
- ② 2回目の参加だったので流れが分かっていて、トラブルなく終わることができた。
- ③ 子どもたちの喜んだ顔を見て、イベントに参加することができてうれしく思った。
- ④ クイズコーナーがあつてよかった。写真コーナーも評判がよかったと思う。



6 多文化フェスタさいわい

「多文化フェスタさいわい」は、地域の人的資源を生かしながら、異なる文化的、歴史的背景を持つ市民の人権が守られる感性豊かな地域、国際的な視点を持ったまちづくりをすすめる幸区役所の地域課題対応事業「幸区多文化共生推進事業」で、代表者会議も市民との交流や相互理解を深めるとともに代表者会議の広報を行うことを目的に実行委員会で企画を立てて参加しました。

(1) 多文化フェスタさいわい 参加概要

日時 2024年2月17日（土）10：00～16：00

場所 幸 市民館

内容 多文化カフェ、代表者会議の活動広報、クイズ

(2) 代表者の感想

- ① 多文化カフェを通して、代表者会議を知り関心を持ってくれる人が増えて嬉しく思う。
- ② いろんな国のお茶を飲むことでダイレクトに海外の文化を感じてもらえるのでとてもよかった。会議を知ってもらういいきっかけになった。
- ③ 市民の方々と交流し会議のPRができ、また子どもたちと楽しくクイズをすることができた。



5 その他の活動

1 富士通フロンティアーズとの交流会

2024年に市制100周年を迎えるにあたり、代表者会議としても新しい取組をしようと考え、かわさきスポーツパートナーの1つであるアメリカンフットボールチームの富士通フロンティアーズとの交流会を実施しました。当日は、練習を見学したあと交流会を開き、代表者からの質問に選手たちが答えてくれました。

(1) 実施概要

日程 2023年9月30日（土）

場所 富士通川崎工場内

参加してくれた選手 #7 ブロンソン ビーティアー 選手、#18 高木 翼 選手、
#40 アルリワン アディヤミ 選手、#44 趙 翔来 選手

(2) 代表者の感想

- ① フロンティアーズの皆様はとてもフレンドリーで、楽しい時間を過ごせました。
- ② 交流会のあと何度か試合を見に行きました。これからも応援していきたいです。
- ③ 選手の家族が過去の代表者だったことを聞き、代表者会議の歴史を感じつつ、自分が代表者であることにより誇りを持つようになりました。
- ④ 外国人の選手や海外留学経験のある選手の話の聞き、やはり異国で生活を始めるときに感じるものは共通していることがわかりました。
- ⑤ バックルームでは、たくさんの功績や選手が使っている大きなトレーニングルームなどを拝見できとても嬉しかったのと同時に、見えない努力を毎日積んでいるのだと改めて感じました。



6 代表者の活動状況

「要求から参加へ」をキーワードに、代表者は会議での調査審議のほか、代表者会議の代表者という立場で行政の各種委員等の活動を行っています。

委員会等	事務局・主催者	代表者名
川崎市青少年問題協議会	子ども未来局 青少年支援室	尹 智夏
川崎市「二十歳（はたち）を祝うつどい」企画実施委員会	子ども未来局 青少年支援室	林 芳安
第44回かわさき市民祭り実行委員会	経済労働局 観光・地域活力推進部	イトウ ユリカ キヤレン
川崎市国際交流センター活用推進検討委員会	(公財)川崎市国際交流協会	レイバーマン ケビン
川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会	総務企画局 シティブロモーション推進室	ペレーラ ラヒル サンケータ
外国人市民による日本語スピーチコンテスト審査員	(公財)川崎市国際交流協会	ペレーラ ラヒル サンケータ

代表者としてではなく、個人としても学校、市民館等の講師をするなど、積極的に社会参加をしています。

1 地域などでの活動

代表者名	活動内容	実施団体・主催者・事務局
野田 ユワリー 李 歓歓 劉 英杰	運営ボランティア	市民文化局市民生活部 多文化共生推進課
マイ アサエル 李 晨 レイバーマン ケビン	翻訳ボランティア	(公財)川崎市国際交流協会
ドウマヤス アリヤン 野田 ユワリー ヒリスとば ガブリエラ マイ アサエル ムハマド アイマン アリフ	識字ボランティア入門研修講師	高津区役所まちづくり推進部 生涯学習支援課
ペレーラ ラヒル サンケータ 李 歓歓	国際科国際理解特別研修プログラム 講師	市立 橋 高等学校
野田 ユワリー レイバーマン ケビン	総合的な学習の時間講師	市立子母口小学校
マイ アサエル	「かわさき7か国語情報」翻訳・録音	かわさき FM

*この報告は本人の申し出により作成しました。

7

せんもんちょうさいん かつどうじょうきょう 専門調査員の活動状況

かわさきしがいこくじんしみんしきくせんもんちょうさいん だいひょうしゃかいぎ せいふくいんちようぶがいちようかいぎ しゅつせき
川崎市外国人市民施策専門調査員として代表者会議、正副委員長部会長会議に出席し
たほか、次のような活動を行いました。

1 じょうほうしゅうしゅう ちょうさ 情報収集、調査

- ① 市長報告同席 (2023年4月21日)
- ② 川崎市における地域日本語教育の基本的な方針の策定に向けた実態調査

2 こうほう けいはつ こうしとう こうりゅうかつどう 広報・啓発・講師等・交流活動

- ① 川崎市外国人市民代表者会議ニューズレター No. 77、78、79 編集
- ② 川崎市外国人市民代表者会議ホームページ 随時情報更新
- ③ 川崎市ホームページ 外国人市民施策担当のページ 随時情報更新
- ④ 多摩市民館識字ボランティア研修講師 (2023年6月2日)
- ⑤ 幸市民館識字ボランティア研修講師 (2023年6月8日)
- ⑥ インターナショナル・フェスティバルinカワサキ参加 (2023年7月9日)
- ⑦ 外国につながるのある子どもの夏休み宿題教室 (2023年7月22日)
- ⑧ 中原区役所サービス向上委員会研修 (〈やさしい日本語〉研修) 講師 (2023年9月25日)
- ⑨ 市立橋高等学校国際科国際理解特別研修プログラム講師 (2023年10月12日)
- ⑩ 市立子母口小学校総合的な学習の時間講師 (2023年10月13日)
- ⑪ かわさき市民祭り参加 (2023年11月5日)
- ⑫ 総務企画局人権研修講師 (2024年2月26日)

3 しりょう ほうこくしよさくせい 資料・報告書作成

- ① 川崎市外国人市民代表者会議議事録
- ② 臨時会について (2023年4月23日)
- ③ 代表者の欠員と補充について (2023年5月21日、9月10日、2024年1月14日)
- ④ 高齢者の介護について (2023年5月21日)
- ⑤ オープン会議について (2023年9月10日、10月15日)
- ⑥ 提言について (2023年9月10日)
- ⑦ オープン会議の振り返りについて (2023年12月10日)
- ⑧ 提言案 介護保険 (2023年12月10日、2024年1月14日、2月4日)
- ⑨ 提言案 日本語学習 (2023年12月10日、2024年1月14日、2月4日)
- ⑩ 代表者会議について (2024年2月4日)
- ⑪ 臨時会実行委員会資料 随時

4 庁内会議等への出席

- ① 川崎市多文化共生社会推進協議会 (2023年5月26日、7月27日、10月5日、11月24日、2024年1月26日)
- ② 川崎市多文化共生社会推進協議会地域日本語教育の基本的な方針に関する検討部会 (2023年6月1日、8月2日、10月12日、2024年1月24日、3月19日)
- ③ 川崎市外国人市民代表者会議代表者選考委員会 (2023年12月25日、2024年2月9日)
- ④ 川崎区子ども総合支援ネットワーク会議 日本語を母語としない子どもの支援部会 (2023年6月29日、2024年1月26日)
- ⑤ 川崎市地域日本語教育推進連絡調整会議 (2023年8月30日、2024年2月7日)

5 まとめと課題

第14期の代表者会議は、対面での定例会議、オープン会議の開催、イベント等への参加など、しっかりとコロナ禍前の状態に戻り、無事に2年間の活動を終えることができました。全体会や部会で活発な議論ができ、また、オープン会議でも参加者の方たちと有意義な意見交換ができたことは代表者会議の意義を再確認する意味でもとてもよかったです。

一方で、やや残念なこともありました。代表者会議の定員は条例で26人以内とされていますが、第14期では2年間で9人の欠員が出て、最終的な在籍は18人という結果になりました。1人ひとりの理由を見れば、市外転居など致し方ない部分もあるのですが、それでもやはり多くの欠員が出てしまったことは残念です。代表者は市内に住む約50,000人の外国人市民の代表であり、多数の応募の中から選ばれた26人です。できれば、26人の代表者全員に2年間の任期をまっとうして欲しかったなと思っています。

提言についてもふれておきたいと思います。第14期では、「産前・産後支援」「介護保険」「日本語学習」という3つの提言が出されました。「産前・産後支援」では、代表者たち自身で多言語のツールを作成しました。代表者会議のキーワードの1つである〈要求から参加へ〉を意識して、代表者たち自身がツールを作成するという取組は第11期から始まったものですが、今期でもその取組が引き継がれ、すっかり定着してきたといえます。非常に実用的でもありますし、とても意味のある取組だと思っていますので、今後もこうした取組が続くことを願っています。「介護保険」は、2022年度のオープン会議で参加者の方から意見をいただいたことをきっかけに審議テーマとして加わり、提言になりました。これは、代表者会議が広く開かれた会議であることをあらわす1つの象徴的な例だといえます。常にさまざまな人の意見に耳を傾けるという姿勢も、代表者にはもち続けて欲しいと思います。

「日本語学習」は、外国人市民に関わるもっとも基本的なテーマの1つだといえます。ちょうどこの3月に「川崎市地域日本語教育推進方針」が策定されるなど、外国人市民への

にほんごきょういく たい かんしん たか なか だいひょうしゃかいぎ ていげん だ じぎ
日本語教育に対する関心が高まる中で代表者会議としても提言が出されたことは時宜に
かな おも
適ったものだと思います。

こんき おお けつりん で ていげん のこ だいひょうしゃ ねっしん
今期は多くの欠員が出てしまいましたが、いずれの提言も残った代表者たちが熱心に
ぎろん しつ たか ていげん う じつげん む つと
議論してまとめた質の高いものです。しっかりと提言を受けとめ、実現に向けて努めていき
たい おも
たいと思います。

せんもんちょうさいん たかはし せいいち
専門調査員 高橋 誠一

